

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市・シャーマゾン春日PJ新	階数	地上3F
建設地	大阪府茨木市春日	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	93人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年10月24日
敷地面積	2,386㎡	作成者	辻岡 友紀
建築面積	1,002㎡	確認日	2023年10月24日
延床面積	2,809㎡	確認者	辻岡 友紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

環境品質 G (34) vs 環境負荷 L (40)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
JR茨木駅から続き大通り沿いに面し、住宅も多く立ち並ぶエリア。多様な入居者を迎えられるよう1LDK~3LDKまでの多様な間取りを確保。また駐車場・駐輪場に関しても必要台数以上確保しトヨタ・デックス・ファミリー全ての層に対しても快適に過ごせる計画となっている。	特になし	
Q1 室内環境 賃貸住宅でありながら断熱性能が高い樹脂サッシの採用。JR線路側に面する住戸は2重サッシとすることで遮音性と高めている。	Q2 サービス性能 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 照明は全てLEDを採用。外部照明はAIセンサーにより夜間のみ点灯としエネルギー削減を計画しています。
LR1 エネルギー 外部照明はAIセンサーにより夜間のみ点灯としエネルギー削減を計画しています。	LR2 資源・マテリアル 施工中現場は分別回収の徹底。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市・シャーマゾン春日PJ新築工事					
	建設地	大阪府茨木市春日					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	
【評価項目】							
	項目	評価内容				スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4
②	みどり・ヒートアイランド対策						
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				1.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-
その他							
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項		
	特に配慮した事項	賃貸住宅でありながら断熱性能が高い樹脂サッシの採用。JR線路側に面する住戸は2重サッシとすることで遮音性と高めている。					